

あさつち

第135号
2014年4月21日発行
TEL 0193-42-2111
FAX 0193-42-3855
発行 大槌町議会

議会報



ともだちいっぱいいつくるぞ！
(みどり幼稚園 入園式)

予算特別委員会の内容 ②～③

審議された議案
議会の動き ④～⑤

組合議会報告 ⑤

一般質問の内容 ⑥～⑩

▲特集▲
復興へのメッセージ ⑪～⑬

視察報告
幼稚園児との交流 ⑭

町方地区盛土工事本格化へ

26年度予算を全員賛成で可決！！

防災行政無線戸別受信機 希望者へ無償貸与
仮設住宅支援員配置事業 町主体で継続実施

26年度予算

予算特別委員会は、3月6日から14日までの日程で開催されました。

委員長には小松則明議員、副委員長には里館裕子議員を選出し、本会議で付託された平成26年度一般会計予算など8会計予算について審査しました。

予算特別委員会での審査終了後、本会議を開いて、採決の結果、26年度の一般会計予算など8会計予算は、いずれも全議員賛成により原案のとおり可決となりました。26年度予算では、復興費を約400億6千万円とし、町方地区などの都市再生区画整理事業はじめ、防災集団移転促進事業や災害公営住宅整備事業を行います。

また、復興費以外では、災害復旧費として、小中一貫教育校整備事業に約38億円を計上しました。



(仮称)おおつち学園小中一貫教育校の完成イメージ図【平成28年4月開校予定】

新規事業

26年度から新たに実施される事業のうち主なものを掲載いたします。

○防災行政無線戸別受信機整備事業
2億2148万円

災害から町民の生命・財産を守るため、災害時や復興事業の情報伝達体制の整備・確立を目的として、防災行政無線戸別受信機を町民の希望者に対して配付（無償貸与）します。

○合併浄化槽設置整備事業補助金
1071万円

下水道認可区域内（現在または将来的に下水道が利用できる区域）への合併浄化槽設置補助金は補助対象外でした。しかし、現在下水道を利用できない認可区域内において被災者の方が住宅を再建され、合併浄化槽を設置していることから、被災者が被災後に認可区域内の未供用区域に合併浄化槽を設置する場合に限り、補助対象とします。

○仮設住宅地域支援員配置事業
2億4598万円

町では、26年度より総務省の復興支援員事業を活用し、仮設住宅に居住されている町民の安全と安心を維持するため地域支援員配置事業を実施します。

○在宅当番・救急医療情報提供実施事業負担金
122万円

26年度より大槌町内の個人医院（4医院）においても、休日診療が始まります。休日診療については、釜石・大槌地区の当番制となっているので、おおむね月に1回程度、町内の個人医院においても休日診療が実施されます。

予算特別委員会の内容

26年度予算の概要

会計名	平成26年度 当初予算	対前年度		採決の結果 全て可決
		増減額	増減率	
一般会計	502億6000万円	△142億6000万円	△22.1%	賛成 全員
特別会計	国民健康保険	20億635万円	6635万円	3.4% 賛成 全員
	簡易水道事業	1億8052万円	4943万円	37.7% 賛成 全員
	下水道事業	33億3504万円	△6820万円	△2.0% 賛成 全員
	漁業集落排水処理事業	6億6671万円	△2990万円	△4.3% 賛成 全員
	介護保険	13億7821万円	△1189万円	△0.9% 賛成 全員
	後期高齢者医療	1億626万円	△408万円	△3.7% 賛成 全員
合計	579億3309万円	△142億5829万円	△19.8%	

(予算額は1万円未満を切り捨て、△はマイナス)

予算特別委員会における質疑の一部を紹介します。

総務費

◎質疑：町と姉妹都市のカリフォルニア州フォートブラッグ市との交流について具体的な内容は。

◎答弁：震災後初の交流として、町内の高校生2人と中学生2人が26年7月下旬頃訪問する計画となっている。

◎質疑：ケーブルテレビ新規契約分ケーブル引込業務委託料に係る工事範囲について、災害公営住宅のほかに自力再建の場合も含まれるのか。

◎答弁：難視聴地域に自力再建された場合も含んでいる。

衛生費

◎質疑：今後建築される斎場の場所や規模などについて決めているのか。

◎答弁：場所は、被災しなかつた現在の火葬場としては、基本構想を決定し

ており、火葬炉は2炉とし、建築面積は控室などを含め800平方メートル程度、敷地面積は駐車場などを含め2000平方メートル程度必要であると考えている。

◎質疑：三枚堂大ヶ口道路のトンネル化について、経路は決定したのか。

◎質疑：震災後の空気汚れによる子供たちへの健康被害が危惧されるが、検診で対応できないか。

労働費

◎質疑：瓦れきの中から写真などを集めて本人にお返しするといった事業が震災以降行われている。

自治体によっては、引き取り手が無い物は処分するようだが町の対応は。

◎答弁：アルバム以外にも位牌やトロフィーなどが集まつた。処分の判断を行政がすることは難しいことから、思い出還り委員会の中で取り扱いについて検討していく。

◎質疑：防災行政無線戸別受信機の配付戸数の見込みは。

◎質疑：三陸縦貫道について、地権者の移転先が決まらないことには住民の理解が得られず、事業が進まないが、用地確保について町の対応は。

◎答弁：海中の瓦れき調査や水質調査、海岸清掃、仮設の駐車場、トイレスシャワーの整備を行うものである。地元住民やボランティアなどと協力して、夏季に海水浴場として利用できるよう対応する。

消防費

◎質疑：蓬萊島に繋がるP.M.2などの状況変化があることから、学校と相談し検討していく。

◎質疑：蓬萊島に橋をかけて観光のPRをしては、防波堤について、防波堤から蓬萊島に橋をかけて観光のPRをしては。

◎質疑：島に渡る橋について、観光客などが渡れるようにするか今後検討していく。

◎答弁：吉里吉里海岸海水浴場整備委託料の内

◎答弁：海中の瓦れき調査や水質調査、海岸清掃、仮設の駐車場、トイレスシャワーの整備を行うものである。地元住民やボランティアなどと協力して、夏季に海水浴場として利

教育費

決と言われているが、それでは解決が難しいことから、代替地が確保できるよう全力で対応し、三陸道の早期開通を目指す。

◎質疑：震災後の空気汚れによる子供たちへの健康被害が危惧されるが、検診で対応できないか。

◎答弁：子供たちの健康安全保持については、粉じんやP.M.2などの状況変化があることから、学校と相談し検討していく。

◎質疑：蓬萊島に橋をかけて観光のPRをしては、防波堤について、防波堤から蓬萊島に橋をかけて観光のPRをしては。

◎質疑：蓬萊島に橋をかけて観光のPRをしては。

◎答弁：島に渡る橋について、観光客などが渡れるようにするか今後検討していく。

◎質疑：吉里吉里海岸海水浴場整備委託料の内

◎答弁：海中の瓦れき調査や水質調査、海岸清掃、仮設の駐車場、トイレスシャワーの整備を行うものである。地元住民やボランティアなどと協力して、夏季に海水浴場として利

審議された議案

第1回定例会

震災津波復興計画 (基本計画) が改定

のです。

止に関する条例：大槌町
託児所に係る入所児童数

議会の動き

平成26年第1回定例会は、2月28日から3月14日までの15日間の会期で開催されました。本期定例会では、23年12月に策定された大槌町東日本大震災津波復興計画（基本計画）が改定されたほか、大槌町畜産振興基金条例の制定、大槌町公文書公開条例の一部を改正する条例、大槌町託児所設置及び運営に関する条例の廃止に関する条例、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更、一般会計などの補正予算、平成26年度当初予算など議案30件が提出されました。また、一般質問には5議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。

議案 — *

- | ◇議案一* | |
|---|-------------|
| ◎大槌町東日本大震災津波復興計画（基本計画）の変更：甚大な被害から1日も早い復興を成し遂げるため、復興の基本的な方向性に関する「大槌町東日本大震災津波復興計画基本計画」を23年12月に策定したところですが、策定以降の様々な状況の変化などを踏まえ、復興まちづくりを更に円滑に推進するためには本計画の変更をするものです。 | （全員賛成・原案可決） |
| ◎大槌町畜産振興基金条例の制定：社団法人大槌町畜産振興公社の解散に伴い、残余財産が町に寄付されることから、残余財産を町の畜産振興に充てる基金にするため条例を制定するものです。 | （全員賛成・原案可決） |
| ◎工事請負契約の締結：新町仮設小中学校グラウンド整備工事について、土地の一部において土地所有者の同意が得られなかつたため、工事区域を変更する必要が生じたこと、また、グラウンドの材料として火山灰土を予定していたが、天候などの理由により材料入手が困難となつたことから、寺野野球場のグラウンド表土を転用するなどの変更が生じたため、工事請負変更契約を締結するものであります。 | （全員賛成・原案可決） |
| ◎平成25年度大槌町一般会計補正予算（第9号）を定めること：集積がれき中間処理及び最終処分業務委託料の実績が確定したことなどにより、歳入歳出予算総額から歳入歳出それぞれ298億353万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を462億6111万1千円とするものです。 | （全員賛成・原案可決） |
| ◎大槌町公文書公開条例の一部を改正する条例：公開の対象となる公文書及び公開請求権者の範囲を拡大しようとするものであります。 | （全員賛成・原案可決） |
| ◎大槌町託児所設置及び運営に関する条例の廃止：小鎌の | （全員賛成・原案可決） |



整備が進む新町仮設グラウンド



小鎌の託児所での開所式

審議された議案

第1回臨時会

◇議案一*

◎工事請負契約の締結
：東日本大震災津波によって甚大な被害が生じた大槌川ふ化場について、大槌川第一ふ化場は23年度に1千万尾の生産規模で施設復旧しているが、今回、大槌川第二ふ化場を1千万尾のふ化場として改修するものです。（全員賛成・原案可決）

第2回臨時会

◇議案一*



整備が進む旧大槌中学校跡地



改修される大槌川第二ふ化場

釜石大槌地区行政事務組合

岩手沿岸南部広域環境組合

岩手県後期高齢者医療広域連合



完成した釜石消防署庁舎本部

◎平成25年度大槌町一般会計補正予算(第8号)を定めること：県営災害公営住宅整備事業の中で実施する旧大槌中学校跡地の土壤汚染対策工事負担金などにより、歳入歳出予算額に7150万円を追加し、予算の総額を760億6464万7千円とするものです。（全員賛成・原案可決）

◎工事請負契約の締結：東日本大震災津波によつて甚大な被害が生じた大槌川ふ化場について、大槌川第一ふ化場は23年度に1千万尾の生産規模で施設復旧しているが、今回、大槌川第二ふ化場を1千万尾のふ化場として改修するものです。（全員賛成・原案可決）

金崎悟朗議員報告
去る2月20日に定例会を開催し、会期は1日限り、付議事件は報告1件、議案8件でいずれも原案のとおり可決された。

釜石消防署庁舎建設（建築主体）工事の変更請負契約の締結に関する専決処分の報告については、原案のとおり了承された。

26年度当初予算是、歳入歳出それぞれ27億5589万2千円となつており、主な事業としては、大槌消防署庁舎建設工事などとなつていています。

26年度当初予算是、歳入歳出それぞれ27億5589万2千円となつており、主な事業としては、大槌消防署庁舎建設工事などとなつていています。

また、環境対策の面では、排ガスの環境測定値は良好な状態を維持していることや、放射能対策としてクリーニングセンターの飛灰、排ガス及び施設周辺の放射線量を測定し、各測定値は国が定める基準値を大きく下回る結果となつており、その数値が減少してきているとの報告があつた。

岩崎松生議員報告
去る2月4日に定例会を開催し、会期は1日限り、付議事件5件はいずれも原案のとおり可決された。

岸南部クリーニングセンターの状況として、25年12月末までに災害ごみを含め3万2038トンのごみを受け入れており、24年12月末と比べて6%の増加となつていてこと、また、25年度末の災害ごみ処理の完了に向けて鋭意取り組んでいるとの報告があつた。

また、環境対策の面では、排ガスの環境測定値は良好な状態を維持していることや、放射能対策としてクリーニングセンターの飛灰、排ガス及び施設周辺の放射線量を測定し、各測定値は国が定める基

準値を大きく下回る結果となつており、その数値が減少してきているとの報告があつた。



阿部義正議員報告
去る2月19日に定例会を開催し、会期は1日限り、付議事件7件を審議し、すべて原案のとおり可決された。

まず、県後期高齢者医療広域連合議会副議長の選挙が行われ、指名推薦で山田町議会議長の昆暉雄氏が当選した。

26年度県後期高齢者医療広域連合一般会計予算における歳入歳出予算の総額は、12億6664万5千円とした。

また、26年度後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算における歳入歳出予算の総額は、1509億3390万3千円とした。

また、環境対策の面では、排ガスの環境測定値は良好な状態を維持していることや、放射能対策としてクリーニングセンターの飛灰、排ガス及び施設周辺の放射線量を測定し、各測定値は国が定める基

30日	29日	27日	26日	24日	20日	19日	14日	11日	6日	28日	25日	20日	19日
釜石消防署庁舎落成式	釜石市議会訪問	特別委員会	東日本大震災復興対策	災害復旧水門土木工事安全祈願祭	浪板地区安全祈願祭	生きた証プロジェクト	寒行委員会	東日本大震災追悼式	議会運営委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	協議会
大槌町託児所閉所式	岩手県議会訪問	特別委員会	東日本大震災復興対策	災害復旧水門土木工事安全祈願祭	浪板地区安全祈願祭	生きた証プロジェクト	寒行委員会	東日本大震災追悼式	議会運営委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	後期高齢者医療広域連合議会2月定例会



小松則明議員

副町長3人制導入の成果は

発災直後からの混乱期を乗り切れた

副町長3人制導入の
成果について

【問】副町長3人制導入の
具体的な成果と今後の必
要性は。

【答】（碇川町長）

副町長3人制について、
佐々木副町長には、主に
内部管理や庁舎内の全体
調整を図ること、大水副
町長には、復興事業の推
進のため国や県に町の意
向を伝え事業を進めるこ
と、佐藤副町長には、被
災地初となる産業拠点用
地、企業誘致などを担当
していただき力を発揮し
ていただいた。
これから第二期復興実
施計画へ移行するにあた
て、本計画の改定にあたつ

り、復興の進ちょく状況
を勘案しながら、副町長
3人体制について見直し
を行っていく。

【問】町は単に復旧するの
ではなく、新生大植を作
らないと生き残れない。
そのため、若い人が仕事
につき、家族を持ち、こ
の大植で暮らしていく
産業を誘致すべきと考え
るが、改定される復興計
画では大植町が生き残れ
る内容となっているのか。

【答】（碇川町長）

【答】（澤田総合政策部長）
復興計画の復興に向け
た基本的な施策を示す基
本計画の改定にあたつて

は、「希望の大植への挑
戦」という基本理念のも
と、空間環境、社会生活、
経済産業、教育文化の4
つの生活基盤を整えるこ
とにより魅力ある暮らし
と風景を再生していくた
いと考えている。

【問】町は単に復旧するの
ではなく、新生大植を作
らないと生き残れない。
そのため、若い人が仕事
につき、家族を持ち、こ
の大植で暮らしていく
産業を誘致すべきと考え
るが、改定される復興計
画では大植町が生き残れ
る内容となっているのか。

【問】消防団員の
確保について

【答】（澤田総合政策部長）
復興計画の復興に向け
た基本的な施策を示す基
本計画の改定にあたつて

こうした取り組みによ
り、町の魅力が高まり定
住促進が図られ、将来に
希望を持てるまちづくり
に繋がると考えている。

【答】（平野総務部長）
消防団は、地域における
消防・防災活動の要で
あると認識していること
から、職員が消防団に参

【問】消防団員の
確保が望めない
なか、地域防災
力の充実強化に
関する法律が成
立し、公務員の
兼業の特例など
について規定さ
れて。町では、
消防団に対する
支援強化を打ち
出しているが、
研修の一環とし

加しやすい環境づくりに
努めるとともに、役場職
員の地域コミュニティへ
の積極的な参画や地域防
災の強化への貢献をする
視点を踏まえ、積極的に
消防団への入団を推奨し
ていく。

議席番号	議員氏名	第1回定例会 (2/28～3/14)		第1～2回 臨時会	
		出席	欠席	出席	欠席
1	三浦 諭	8	0	2	0
2	芳賀 潤	8	0	2	0
3	東梅 守	8	0	2	0
5	阿部俊作	8	0	2	0
6	東梅康悦	8	0	2	0
7	小松則明	8	0	2	0
8	里館裕子	8	0	2	0
9	金崎悟朗	8	0	2	0
10	後藤高明	8	0	2	0
11	岩崎松生	8	0	2	0
12	野崎重太	8	0	2	0
13	阿部義正	8	0	2	0
14	阿部六平	8	0	2	0

仮設住宅の空き室利用の希望があるが

柔軟に対応したい



阿部俊作議員

【答】（碇川町長）
震災により壊滅的な被害を受けた町を単なる復旧ではなく、将来に向け希望を持てる町へと復興させる必要がある。そこで、

- 一、大槌の豊かな自然風土を生かし、地域の歴史性を踏まえたまちづくり。
- 二、震災の教訓をしつかり刻み込み、災害に強いまちづくり。
- 三、高齢者や子育て世代など町民の不安に寄り添う目的外使用許可を行う

【答】（碇川町長）
震災により壊滅的な被害を受けた町を単なる復旧ではなく、将来に向け希望を持てる町へと復興させる必要がある。

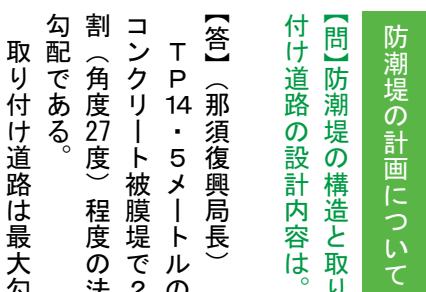
【答】（今民生部長）
26年1月現在227戸の空きがある。
根本復興大臣から、被災者以外の入居も考慮し認める旨の説明があつた。

町づくりの基本について
【問】大槌の歴史を伝え、将来交付金に頼らないまちづくりを目指すべきと思うが。

うとともに、産業振興・企業の誘致を行い働く場所づくりを進め、町民とともに支えていくまちづくりをしていきたい。

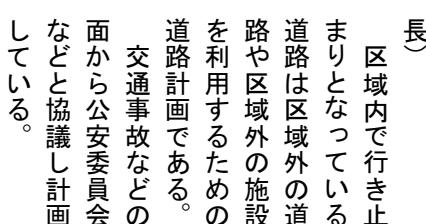
仮設の空き室利用について

【問】大槌に住居を移したいという人達などから仮設住宅の利用希望があるが、空き室の利用を認めはどうか。



防潮堤の計画について
【問】防潮堤の構造と取り付け道路の設計内容は。

【答】（那須復興局長）
TP14・5メートルのコンクリート被膜堤で2割（角度27度）程度の法勾配である。



方向で検討している。
県から目的外使用についての基準が示され次第、町としては空き室の利用について柔軟に対応していきたい。



柔軟な対応が求められている仮設住宅の空き室

配8%と6%の道路を新設する予定で、歩行者の通路も設ける計画である。県と協議の場を密な情報共有

【答】（青木都市整備課長）
要請のあつた場合は、その都度業者に連絡した。図つていただき。

【問】26年2月の大雪で停電や交通の遮断が起きた。自治会、地域防災や除雪隊などの組織化が必要ではないか。

自然災害への対応について

町の道路について

【問】町の道路は碁盤の目のような形が理想と思うが。

【答】（那須復興局長）
区域内で行き止まりとなっている道路は区域外の道路や区域外の施設を利用するための道路計画である。交通事故などの面から公安委員会などと協議し計画

配8%と6%の道路を新設する予定で、歩行者の通路も設ける計画である。県と協議の場を密な情報共有



芳賀潤議員

JR山田線の復旧は

早期復旧のため具体的な協議を進める

大槌町東日本大震災津波復興基本計画の改定について

【問】復興基本計画の改定

要素案が示されているが、抽象的でイメージできない。住民が具体的に次のステップや大槌の再生をイメージできるようにしていかなければならぬと考えるが、町長の見解は。

【答】（碇川町長）

震災前からの若い世代の転出及び少子高齢化傾向に加え、震災後の大幅な人口流出により、町の将来の人口が減少することが懸念される状況を踏まえ、どのような方向性でまちづくりを進めて

いかとか打ち出した。
具体的には、生活の基

本となる、安心して暮らせる住環境づくりである「空間環境基盤」をまちづくりの基礎として位置付

け、この上に、日々の暮らしに密接に関係している医療福祉、子育て、コミュニティといった「社会生活基盤」、地域を活性化させ、家計を担つていく仕事としての「経済産業基盤」、人づくりを進め文化をつなぐ「教育文化基盤」の3つの基盤が三位一体となつたまちづくりを進めていきたい。

これまでの経緯から、JR東日本が自ら復旧、運行することが公共交通

【問】被災地の雇用対策について
被災地にかかわらず人手が足りない状況であること

事業者としての責務であると認識しており、引き続き要請を行っていった。

入居や、土地区画整理事業などの土地利用計画により、一時居住地を移動する方の入居要件の緩和について、要望を重ねて

二重債務問題への対応は

解決に繋がるよう関係機関と連携



東梅康悅議員

二重債務問題について
【問】二重債務問題について、自治体が入り込むことは難しいが、町として取り組めることがあるのでは。

してもらうなど法テラス
大植と協力し、情報提供
を行っている。

指定金融機関制度について

被災者ローン減免制度（個人版私的整理ガイドライン）は、東日本大震災により住宅ローンなど目的として、借入金の

【問】町では多くの基金を設け、震災後に多額のお金が基金で管理されていく。26年度の預け先ごとの予定金額はいくらか。また指定金融機関の指定はいつ頃行つたのか。

町としては、相談会など会場の確保をするとともに、まちづくり懇談会や住民説明会の際に、弁護士から制度の説明を

答】(平野総務部長)
現在 22 の基金を普通、定期及び決済性預金で管理している。資金運用面などを含む総合的な判断

組合連合会大槌支店に54億2772万円、花巻農業協同組合大槌支店に28億9532万円など、総額614億8373万円となつてゐる。

指定金融機関である岩手銀行の契約日が昭和40年4月1日であること

【答】（伊藤教育長）震災で被災した児童生徒には就学支援を26年度も行うとともに、今後も国・県に支援の継続を強く要望していく。心のサポートケアについては、その必要性を強く認識していることから、専門の

浄化槽整備への対応を広げている。

地盤や海面で失った自宅や車のローンが残っているませんか?
住宅ローンなどお借入れの返済にお困りの被災者の方へ



東日本大震災の衝撃により、震災前の住民登録が困難となりた方は、「他人格登録」の私的整理に関するガイドライン」を活用することにより、一定の要件の下、住所の変更を望むことができます。

私の整理ガイドラインに関するパンフレット

下水道事業の今後の計画について

浄化槽整備事業の今後の
対応は。

子供達の支援計画について

復興事業に伴う下水道認可区域は、25年度において、寺野・三枚堂・柵内沢山地区の一部分を認可し、安渡・赤浜地区は一部を広げている。

カウンセラーやスクールソーシャルワーカーを25年度と同様の体制で学校に配置する。

また、幼稚園や保育所にも専門のカウンセラーの派遣を検討している。



東梅守議員

防潮堤建設にあたり町民への対応は

まちづくり懇談会の都度説明していく

今後の財政見通しについて

【問】現在、復興基本計画に基づきまちづくりが行わっているが、復興後の町財政が心配される。財源となる税収入の減少率が被災地の中で最も大きく、今後の人口減少や新たにつくられる公共施設の維持管理コストなど、町の先行きを考えたとき、この復興基本計画でよいのか危機感を持つ。町として復興後の財政の見通しは。

【答】（平野総務部長）復興基本計画の見直しに伴い策定している実施計画に合わせ、向こう3年間の財政計画となつて

防潮堤について

【問】防潮堤の建設にあ

り、過日起工式が行われ水門建設に向けた工事が

通しについて、不確定な要素が多く困難であるため、もう少し推移を見必要があると考えている。また、復興事業により予算規模は膨大であるが、本来の財政状況を把握していくことは重要と考えている。いずれ、復興後は歳入も減少し予算規模も縮小されることが見込まれるため、町の身の丈に合った財政運営をしていかなければならぬものと考へている。

【答】（那須復興局長）大槌川・小鎧川の両水門間の防潮堤については、昨年のまちづくり懇談会において県の土木部より設計から今後の進め方にについて説明している。また、町に対しては平面図・立面図が示され、構造・詳細設計はこれから示されるものと思つていい

事については、今後のまちづくり懇談会の中で県の説明では、詳細設計が決定した段階で県の担当者より町民へ説明があるやに聞いていたが、説明会は開かれたのか。また、町に対して詳細設計は示されたのか。

事については、今後のまちづくり懇談会の中で県の説明では、詳細設計が決定した段階で県の担当者より町民へ説明があるやに聞いていたが、説明会は開かれたのか。また、町に対して詳細設計は示されたのか。

【問】防潮堤による湧水への影響や、防潮堤建設に対する疑問点などを指摘している町民もいる。説明会や議論する場が必要であるが。

事については、今後のまちづくり懇談会の中で県の説明では、詳細設計が確定した時点での工事の進ちょく状況を鑑みながら、まちづくり懇談会の都度、説明していいくことが基本であると考えており、町としてもきめ細かい説明が必要であると認識している。

【答】（那須復興局長）懸念される湧水については、影響はないものと考えている。



かさ上げ予定地の湧水

議会を傍聴しませんか

6月定例会は 6月 6日（金）開会予定です。

予定は変更される場合があります。
詳しくはお問い合わせください。

特集 復興へのメッセージ

復興へのメッセージ

→ 東日本大震災・大津波、

議会議員の思い



式辞を述べる碇川町長（追悼式）

東日本大震災大津波で壊滅的な被害を受けてから3年の月日が経過しました。多くの町民の命と財産を失った大槌町は復興に向け全職員一丸となって全力で取り組んでおります。

震災からの3年振り返り、大槌町復興のため議員が日々考えていることなどの感想をいただきましたので、議席番号順に掲載します。

震災から3年を経て

三浦 謙

震災から3年が経過し、被災した家屋や基礎が撤去され、町方の振り替え道路が作られたことで、目に見える復興が進められております。一方で、町の目印となるものが少なくなり、震災前の風景を思い出しますと、寂しさを感じます。

平成26年度は、復興計画における再生期とされておりますが、人口減少に歯止めをかけるために住宅と勤務先の確保、医療と教育環境の充実は当町における重要な課題であると考えます。

土地区画整理事業や防災集団移転事業、災害公営住宅建設が本格化いたしますが、震災前の大槌に戻すだけの復旧ではなく、大槌を発展させるよう議会・当局一丸となり推し進めていくよう努力して参ります。

昨年、各仮設住宅団地を訪問させて頂きましたが、遅くなりましたが、遅くなりましたが、多くの町民の命と財産を失った大槌町は復興に向け全職員一丸となって全力で取り組んでおります。

を深くお詫び申し上げます。町民の皆様のご意見を反映させることが私たちの役割でありますので、本年度も「指導・鞭撻」のほどよろしくお願い申し上げます。

芳賀 潤

震災から3年、誰がこれまでに、復興が進まないことを予測したであろう。事務的には進んでいるかも知れないが、目に見える形で進んでいない事実は「まかせない」。

3年を振り返る

芳賀 潤

れほどまでに、復興が進まないことを予測したであろう。事務的には進んでいるかも知れないが、目に見える形で進んでいない事実は「まかせない」。

大震災津波から3年

東梅 守

金が絡むとやはり国家といふ事になる。いつそのこと、予算の頭打ちを決めて、町の責任で復興させれる方が早く、言い訳は許されない、またその責任も持てる。

震災前の当町と比較して、再興するために必要なことは、発想の転換であると思う。震災という事実を逆手に取るような発想がなければ、小さく

なっていくだけである。

この数ヶ月間、住民からの個別の相談で、住宅重建に向けた用地の被災した家屋や基礎が撤去され、町方の振り替え道路が作られたことで、目に見える復興が進められることが多くなってきた。個別の事案等であり、「全体の中では聞けない」「聞いても理解できない」し

かし、悩んでいる住民にとっては、万事が一事であり、事が万事である。今を生きることと、明日を生きることと、しっかりと見極めながら政策を作つていかなければならないと考える。

3年目で思うこと

阿部俊作

「あの赤い線はなんですか」、十数年前のことになります。私は、県道

あの日から3年を迎え、いまなお仮設住宅や大槌を離れた生活を余儀無くされている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

復興も瓦礫処理も大方終了し、復興基本計画に基づいて作業を進めていますが、膨大な仕事量に

人手不足や法律・制度の壁が立ちはだかり思うように進まない現状があります。それでもやっと今

年には、小中一貫教育校の建設、市街地の盛り土、

住宅重建が進められていきま

す。一日も早く皆様に希望の保てる大槌を再建出来るように、議員として努力して参りたいと思います。

3年目で思うこと

阿部俊作

「あれは、想定される洪水の水位です」「ええ」と驚いて声をあげた私に監督さんは笑つて

いました。「百年に一度あるかないかの想定です」と答えてくれました。実際にこんな

特集 復興へのメッセージ

な洪水が起きたら、川下の町は無くなると思いました。

国道45号線には、こ

まで津波浸水想定区域と

いう標識が立っています。

た。3年前の津波はその標識の正確さを物語っています。本当に町がなくなるとは未だに信じられません。

科学はいろいろな事を想定し、警告しています。

今から40年前にもなりま

すが、科学雑誌サイエン

スにシベリアの永久凍土

種々のウイルスや未知のウイルスがあることを警

告する記事がありました。

そうした科学の予告警告

人々は、行政は、どう動いたのでしょうか。

お金は人間が編出した

便利な道具であって、人

の命を支えるための一つの道具でしかないと私は思います。まちづくりに

再建を目指し、一生懸命頑張られている時、議員として果たす役割は何か

のかということを常に頭

におきながら責任ある言動をしなければならない

ことがあります。

いざれにいたしま

しても一番大切なことは、当

たり前のことです。

劍に人の命に、人の心に、

向き合うことがまちづくりには大事なことだと思います。

東日本大震災から3年

東梅康悦

平成23年3月11日に発

生した東日本大震災から

3年が経過する時、未だ

431名の方々がご家族

の元に戻られておらず、

多くの方々が応急仮設住

宅で不便な生活を強いら

れております。改めて犠

牲となられた方々、ご遺

族の皆様にお悔やみを申

し上げますとともに被災

された方々にお見舞い申

し上げます。

3年前の大震災で今を

生きる多くの方々は、大

切な人々を亡くし、長年

築き上げた財産をも失い

ました。そのような状況

下で一人ひとりの方々が

から28年まで復興基本計画の二期目に進むに当たり、今後3年間で住む場所・働く場所等も大部分備りますが、それにはスピード感を持ち、また

目に見える事業の進ちょくを確かにものにしなければなりません。そのためにも議会及び議員が町民の皆様方の負託に応えるよう努めていかなければなりません。

震災から3年

小松則明

震災から3年目を迎えて、新生大槌に変わる時であると考えます。

私自身はもう3年経ったんだなあーと思う気持ちと、現実を見つめ前に進んでいます。

震災後、大槌町においても多くの新しい生命が誕生しております。大震災を経験したことのないこれから子供たちに、これからの子供たちに、

3・11をどのように伝えていくのか、マスコミなどでも大震災を取り上げることが少な

く、マスコミなどでも大震災を取り上げることが少な

民の皆様方の理解を得ながら、町民・行政・議会が三位一体となり進むことだと思います。

震災から3年

小松則明

震災から3年目を迎えて、新生大槌に変わる時であると考えます。

私自身はもう3年経ったんだなあーと思う気持ちと、現実を見つめ前に進んでいます。

震災後、大槌町においても多くの新しい生命が誕生しております。大震災を経験したことのないこれから子供たちに、これからの子供たちに、

3・11をどのように伝えていくのか、マスコミなどでも大震災を取り上げることが少な

く、マスコミなどでも大震災を取り上げることが少な

0人の人口になると、当たり前のように新聞の紙面に書かれ、息が詰まる思いがしております。これくらいの大打撃を受けた大槌町は、震災前の大槌町に再生するのではなく、新生大槌に変わる時であると考えます。

水産業、農業、林業も大事であると重々承知していますが、若い人たちが働く場所、大槌町で働き家族を持ち育てる企業誘致が必要と考えます。

人口減少の世代は18歳から30歳が多いのも働く場所がないからです。大槌町に大きな税を納めていただける会社、その会社から納めていただける税金があれば一次産業への大きなプラスになるとを考えます。

人口減少の世代は18歳から30歳が多いのも働く場所がないからです。大槌町に大きな税を納めていただける会社、その会社から納めていただける税金があれば一次産業への大きなプラスになるとを考えます。

3月初旬、大槌の春本番はもう少し先です。そ

んな中、海側では早朝から重機が稼働しています。

山際には仮設住宅と既存の住宅の集落があり、低

地部に目を移すと広範囲にわたる住宅跡地が基礎撤去を終え、間もなく始まる復興事業の色付けを待っています。山状に高く盛られた土の仮置場が点在する安渡周辺の情景です。

『震災復興』への思い
里館裕子
震災前から、ブランド開発などという名目で少しの予算が町から出ているのも事実ではあります

が、開発するのであれば、他の市町村に負けないくらいの物を作らなければなりません。



町中心部復興イメージ図

震災前から、ブランド開発などという名目で少しの予算が町から出ているのも事実ではあります

が、開発するのであれば、他の市町村に負けない

くらいの物を作らなければ

なりません。

『震災復興』への思い

里館裕子

震災前から、ブランド開発などという名目で少

しの予算が町から出てい

てます。しかし、そのお金に

向き合うことよりも、真

いです。

このことです

が、防災集団移転先団地の

市場では買つてもらえた

のです。

防災集団移転先団地の

市場では買つてもらえた

特集 復興へのメッセージ

買収状況は、1月29日現在で全地区、すべて買取り同意済との報告があり、毎に現時点では隔たりがあります。これは土地整理事業にも言えることですが、いずれ地権者との合意に基づく決定がされてこそ先へ進める話です。関係者の方々には、相互理解の難しさや厳しさに直面し、さぞやご労多かろうと思う時、ただ低頭するばかりです。2つの事業を推進する上で念頭に置きたいのは、その根本は復興にあるということです。

地球規模のエネルギー

大震災から3年
金崎悟朗

買収状況は、1月29日現在で全地区、すべて買取り同意済との報告があり、毎に現時点では隔たりがあります。これは土地整理事業にも言えることですが、いずれ地権者との合意に基づく決定がされてこそ先へ進める話です。関係者の方々には、相互理解の難しさや厳しさに直面し、さぞやご労多かろうと思う時、ただ低頭するばかりです。2つの事業を推進する上で念頭に置きたいのは、その根本は復興にあるということです。

大震災から3年
岩崎松生

3年も経つと、これから3年が経過しました。改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申します。若者が定着し、生活を営むことが出来る事は、その根本は復興にあるということです。

大震災から3年
副議長 阿部義正

私たち議員は、各種委員会、復興特別委員会を通じ、行政との会議を重ね、復興のための意思を出し合い、大槌町の未来へ向け努力しております。

大震災から3年
副議長 阿部義正

その原因は、用地の確保が進まないことにより、遠い状況であります。改めて犠牲になられた方々

が我が町をのみ込んでから3年が経ちました。各地から大槌町に応援に来られて、復旧・復興に尽力されている職員の方々、また町の職員の方々に心より感謝申し上げます。

3年目を迎えて

岩崎松生

3年も経つと、これから3年が経過しました。改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申します。若者が定着し、生活を営むことが出来る事は、その根本は復興にあるということです。

私たち議員は、各種委員会、復興特別委員会を通じ、行政との会議を重ね、復興のための意思を出し合い、大槌町の未来へ向け努力しております。

3年が経過しようと、改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申します。若者が定着し、生活を営むことが出来る事は、その根本は復興にあるということです。

3年が経過しようと、改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申します。若者が定着し、生活を営むことが出来る事は、その根本は復興にあるということです。



本格的に始まった町方地区盛土工事

視察報告・幼稚園児との交流

釜石消防本部 庁舎視察



釜石消防署庁舎指令室

去る3月30日、釜石市鈴子町において、釜石消防署庁舎落成式が行われた。敷地面積3995m²で、東日本大震災により被災した大渡旧庁舎の約4倍の広さとなる。最新の通信指令設備をはじめ、救急訓練設備、多目的資機材倉庫、緊急車両車庫等が完備され、住民を灾害から守る防災

施設としての機能が発揮されるであろう。

式典では、管理者である釜石市長の式辞、建設経過報告、施工業者6社と工事車両駐車場提供者1社への感謝状贈呈、来賓祝辞等が行われ、消防庁舎完成を祝した。

大槌消防署庁舎は現在造成工事中で、平成27年度末完成予定であり、ヘリポートも整備される。

拠点としての機能が発揮されるであろう。

式典では、管理者である釜石市長の式辞、建設経過報告、施工業者6社と工事車両駐車場提供者1社への感謝状贈呈、来賓祝辞等が行われ、消防

次代を担う子供たちと編集委員との交流



♪みんなでおゆうぎたのしいね♪

前回好評だった阿部俊作委員による手品の披露もあり、皆楽しい時間をお過ごすことができました。

22人は、元気に返事をしていました。

今後も次代を担う子供たちと交流を深めたいと思つております。よろしくお願ひします。

小鎌に移転したみどり幼稚園を訪問し、年長のつばき組の子供たちと一緒に遊戯をして遊びました。とても元気な歌声が響く中で、委員皆童心にかえつてはしゃいでしまいました。

表紙写真は、26年4月9日に同じくみどり幼稚園で行われた入園式の風景です。入園式に参加した3歳児22人は、元気に返事をしていました。



つばき組のみんな～！
どうもありがとうございます

★次回の訪問予定★
次号は、6月中旬に「おさなこ幼稚園」の予定です。

表紙の「おおつち」を書いてくれたみどり幼稚園のはるかちゃんです。上手に書いてくれてありがとうございました。



くぼ はるか
遥ちゃん(6歳)

★タイトル作成者★

▼派遣職員として1年間、議会報編集委員の皆様の下で議会報の作成のお手伝いをさせていただきました。

あつという間の1年で、大槌のために何ができるのかという思いはあります。しかし、次に続く派遣職員にバトンを繋ぎ、思いを託します。

これからも派遣元から大槌を応援し続けるとともに、機会を見つけて訪問し、復興の進ちょくを見守つていきたいと思っております。

私も含め派遣職員を励まして支えていただいた大槌中学校の皆さんを初め、町民の皆さんに心より感謝いたします。どうもありがとうございました。

編集後記

委員長	高木
委員	三浦 謙
委員	芳賀 潤
副委員長	金崎悟朗
委員	阿部俊作
議会事務局	高木
議会報編集特別委員会	